

着物 リサイクル 毎月25日号掲載

春夏秋冬

第202回 山本会長お疲れ様でした!

はリユース業界から選ばれた初の会長だった。

5月18日、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会(JFCA)の定期総会で、ファミリーマートの代表取締役会長・中山勇氏が第14代会長に就任された。

第13代会長は、二期4年務められたハードオフ代表取締役会長兼社長の山本善政氏だった。先ずは山本会長、4年間の大役お疲れ様でした!

リユース業から初の会長就任

JFCAは、1972年に通商産業省(現在の経済産業省)の許可を得て、フランチャイズシステムの健全な発展を図ることを目的に設立された業界団体である。

JFCAはコンビニエンスストア部会、外食部会、小売、サービス部会の3部会で構成されているが、山本会長

就任中は山本会長の趣向「お互いのFC本部を研究しよう」というお考えで、多くの本部を訪問させて頂いた。中でもハードオフ、CoCoCo吉番屋、タリーズコーヒー、ドールコーヒ、物語コーポレーション、ミニストップなどの本部や工場を見学させて頂いた。

この事はFC本部を経営する中で、得がたい経験になった。又モスバーガーの「モス河口湖ヴィレッジ」での研修も素晴らしい環境で、良い体験をさせて頂き、印象に残っている。

4年間の在任中 全てプラス維持

JFCAの調査では、2015年度の国内FCチェーン数は1329チェーンで、前年比8チェーン増で6年連続の増加。店舗数は26万992店舗で、前年比1868店舗増で7年連続の増加。売上高は24兆5945億円

で、前年比4608億

FC協会&リユース業協会&ハードオフ

3組織の代表を兼務した山本会長の凄さ

円増で6年連続の増加だった。

この中でJFCA会員のシェアは、チェーン数で24.5%の32.5チェーン。店舗数で48.9%の12万7635店舗。売上高は58.9%の14兆4935億円だった。

低成長時代の今の日本にあって、山本会長在任中の4年間は、チェーン数、店舗数、売上高の全てにおいてプラスを維持継続し、JFCA会員の売上高14.5兆円をリードして来られた。

この実績は特筆すべきものだと思う。私も山本会長在任中に声を掛けて頂き、JFCA会員の末席に加えて頂いたことは、大変嬉しく思っている。また昨年4月、この功績をもって藍綬褒章を受章されたことは、皆様の記憶にも新しいことと思う。

更にごい事は、日本リユース業協会(JRAA)に於いても、2009年の設立以来2015年まで3期6年間会長を務められた事だ。つまり2年間は2つの協会の会長を、一部上場企業であるハードオフの代表取締役をしながら兼務して来られたわけである。本社を新潟県新発田



2014年ハードオフコーポレーションで開催したJFA合同部会での山本会長の講演の様子

市に置きながら、東京、新潟市の3カ所を拠点に、全国を軽やかに動き回るタフネスは、満69歳とはとても信じられない。

私も、過去何度か相談に伺った折には、毎回短時間に鮮やかなご対応を賜わり、毎度感銘を受けてきた。

着物企業で唯一のFC

我々たんす屋は、42年間右肩下がりの着物業界にあって、4つの時代をリードすること

で、着物マーケットダントツのリーダーシップカンパニーになることを目指している。具体的には①リユースの時代②フランチャイズの時代③ネットの時代④インバウンドの時代である。

着物業界に於いて①リユースの時代②フランチャイズの時代は、

お陰さまでリードして来られた。実際、JRAAに於ける唯一の着物専門企業である。またJFCAの調査では、着物専門企業として、他業種の優れたFC本部から多くを学ばせて頂き、フランチャイズビジネスも更なる進化発展を目指して行きたいと考えている。

リユースの時代をリードする事と、フランチャイズの時代をリードする事を考えた時、これまでJRAAとJFCA、2つの一般社団法人の会長を歴任してこられたハードオフの山本会長兼社長の偉大さと、時代の流れを読む鋭さを感じずにはいられない。

これまでのご恩に感謝しつつ、これからも大いに学ばせて頂きたいと思うので、JFCA会長ご退任後も、更なる活躍をお祈り申し上げます。

FCビジネスの 進化発展目指す



東京山喜
(店名・たんす屋)

中村 健一 社長

1954年9月京生まれ。77年カリフォルニア州立大学ロングビーチ校留学、79年慶応義塾大学卒業。同年東京山喜入社、87年取締役京都支店長、91年常務、93年社長に就任、今に至る。